

令和7年度 吉浜幼稚園関係者評価委員会（結果）

高浜市立吉浜幼稚園

令和7年度に幼稚園関係者評価委員会を計2回開催しました。吉浜幼稚園では、幼稚園関係者評価委員会を組織し、園・家庭・三者一体となって協働して幼稚園づくりが展開されるよう、委員のみならずからご指導ご助言をいただきながら、園運営の改善を図っています。令和7年度の総合評価、保護者アンケートについて公表させていただきます。

<教育目標>

集団生活を通して社会性を養い、人間性豊かな子どもの育成を図る

- ・思いやりのある優しい子
- ・明るくのびのび遊ぶ子
- ・自分で考え意欲的に取り組む子

1 教育目標・経営方針についての評価

【思いやりのある優しい子】

異年齢の子が関わり合い、親しみを感じられるよう園行事が実施されている。困った様子の友達に対してわかりやすいよう関わっており、思いやりの心が確実に育まれている。

【明るくのびのび遊ぶ子】

外遊びで、追いかけてこや長縄跳び、砂場遊び等、広い園庭を活かし体を十分動かし遊んでいる。スコップやカップ等の量が十分あり、一人一人の遊びのスペースが確保される等、環境が整っている。

【自分で考え意欲的に取り組む子】

保育者が、遊びの中で子どもと一緒に考え、子どものやってみようことを実現できるように支えている。自分の思いが出せるように接し、子どもとの対話を大事にしている。遊びの中での積み重ねが、保育者への信頼感と子どもたちの主体的な姿に繋がっている。

まちづくり協議会や地域、保育園、小学校、家庭等、様々な方々に支えられており、園は地域の中で子どもが育つ基盤となっている。

2 重点努力目標についての評価

重点努力目標	番号	評価項目	回答							
			<保護者> 対象人数:139名 回答数121名(87%) 内訳：3歳児50名中44名 4歳児49名中45名 5歳児40名中32名							
			S		A		B		C	
保護者	職員	保護者	職員	保護者	職員	保護者	職員			
ア 人と関わることの楽しさや楽しさを感じ、のびのびと活動する幼児を育成する	1	お子さんは、幼稚園に行くのを楽しみにしている。	44.6	10	42.1	90	9.9	0	3.4	0
	2	お子さんは、園で安心して自分の思いを出し、表現していると感じる。（嬉しい・楽しい・悲しい・悔しい・腹が立つ等）	39.7	20	40.5	80	19	0	0.8	0
	3	お子さんは、保育者や友達への親しみを持ち、一緒に遊ぶことに喜んでいる。	48.8	40	41.3	60	9.9	0	0	0
	4	お子さんは、生活や遊び（行事を含む）の中で、年下や年上、同年の友達との関りが増えてきている。	46.3	30	41.3	70	11.6	0	0.8	0
	5	お子さんは、園での出来事や友達との関わりについて、家庭で楽しそうに話すことが増えた。	38	15	43.8	85	13.2	0	5	0
委員評価	S	子どもたちが、のびのびと生活しており、保護者も保育者に信頼感をもっている。保育者は、子どものしたいことが実現できるようにとことん関わっている。運動会、発表会等の行事も、子どもと保育者が一緒に作り上げているとコドモン配信や家庭での会話からも感じ取れた。 3歳児は、自分の世界を楽しむ時期を経験し、今、保育者や友達を求めている。集団生活の中で、ルールを守る等自分で気づきながら社会性を学んでいると感じた。 項目1では、保護者の中にCの方も一定数みえ、不安を持っていることが予想される。子どもが園で楽しんでいる姿を伝えながら、保護者の不安感や悩みを寄り添い対応していくことが課題となる。								
イ 様々な環境に自ら意欲的に取り組み、イメージを豊かに広げて遊ぶための環境、保育者の援助について探る	1	保育者は、一人一人の子どもの思いを丁寧に受け止めている。	48.8	20	43.8	80	5.8	0	1.6	0
	2	保育者は、季節感に考慮しながら、「やってみたい」という子どもの興味関心を引き出す遊びの環境を整えている。	57	30	40.5	60	2.5	10	0	0
	3	保育者は、子ども達の発想を大切に、遊びの幅が豊かに広がるよう接している。	53.7	10	42.1	85	4.2	5	0	0
	4	お子さんは、なりきったり見立てたりしながら、自由に描く、作る、動くことを楽しんでいる。	55.4	25	38.8	75	5	0	0.8	0
	5	お子さんは、友達同士刺激を受け合い、イメージを膨らませながら一緒に遊ぶ楽しさを味わっている。	47.9	40	39.7	60	9.9	0	2.5	0
委員評価	S	環境では、作る所、一人でじっくり遊ぶ所と、個々の様子や子どもに合わせて場があった。互いの遊びの距離が、周りの子どもたちが意識できるような構成になっている。道具や教材は、子どもが使いやすく扱いやすい大きさや量の発達に合わせた玩具が用意されていた。様々な形や大きさの積み木が用意されており、子どもたちは、いろいろ組み合わせてイメージを広げて遊ぶことができていた。 子どもたちは、自分の思いを出し話しかけてくれた。人への信頼感、自ら関わっていく力の育ちを感じた。 保育場面で、保育者が子どもに気付いてほしい、考えてほしいという意図と援助が多くみられ、遊びを見守り仲間のように関わりながら、子どもたちの会話の架け橋になっていた。職員がA評価としているのは、保育者が現状に満足するのではなく、更なる保育の向上を目指しているからだと感じた。								
ウ 食への関心を育み、楽しく食事ができる子を育てる	1	お子さんは、園での栽培や収穫、クッキング活動を通して、食べ物に興味を持つようになってきている。	61	65	30	35	8.4	0	0.6	0
	2	食育活動を通して、食べ物や体の仕組みに興味を持つようになってきている。	34.7	35	40.5	60	20.7	5	4.1	0
	3	お子さんは、園で経験した食育活動を、家庭で話題にすることが増えた。	29	20	35.5	70	28.9	10	6.6	0
	4	幼稚園からの食育に関する活動内容や意図が、保護者としてよく理解できた。	38.8	10	45.5	85	15.7	5	0	0
委員評価	S	子どもは、苦手で野菜を自分で収穫したことで、少し食べてみようという意欲が育った。園でのクッキング経験後「家でも作ってみたい」と言って家庭でも何度か行った。園の食育活動から、子どもと一緒にキッチンに立つことや会話が増え、食への興味が高まっている。 食育は、幼い頃からの経験が、大きくなって繋がりが育まれていく。園から食育について保護者への伝え方が重要である。保護者を巻き込んでいく活動の工夫を期待したい。 項目2の体の仕組みについては小学校高学年で学ぶことなので、幼児期には難しく、保護者評価も低いと感じた。「食に感謝の気持ちを持つ」が妥当ではないか。 項目2、3の保護者評価が低いのが、食育は幼稚園の3年間、もしくは長い月日を経て形成されるものであり、すぐ答えが出てくるものではない。また、クッキングをしたから食育をやっているというわけではない。学年に応じてできることも違い、経験値も違う。保護者への理解、発信の仕方が難しいが、園としても工夫していくという点から今後を期待してS判定とする。								
エ 家庭や地域 保育園・小学校との連携を図る	1	お子さんは、地域の場所に出かけることを喜んだり、地域の人々と関わったりし、親しみを感じている。	47.2	80	41.3	20	10.7	0	0.8	0
	2	幼稚園は、ICT「コドモン」を活用し、園の取り組みや子どもの生活や遊びの様子を伝え、幼児の育ちを伝えている。	53.7	55	43.8	45	2.5	0	0	0
	3	幼稚園は、保護者が保育参観や行事、ボランティア等で子どもと関わる機会を作り、お子さんの育ちに気づくようにしている。	54.5	55	42.1	45	3.4	0	0	0
	4	幼稚園は、地域に出かけ様々な人と関わりを通して、子ども達の人と関わる力が育つように努めている。	48.8	55	46.3	35	4.9	10	0	0
	5	幼稚園は、地域社会（保育園・小学校）との交流を計画的に取り入れて、子どもの興味関心や活動の場を広げている。	47.1	60	44.6	35	6.6	5	1.7	0
	6	保護者の皆さんに伺います。コドモン配信での子どもたちの園での様子を知り、家庭で話題にあがったり、話したりすることが増えましたか。	57		33.9		8.3		0.8	
委員評価	S	吉浜地域は、高浜市の文化に触れることができる場所が多く、園のみならず一緒に体験できることは良い。地域の方々からのアプローチも多く、触れ合いが充実している。 コドモンの「活動の記録」の配信は、園の様子が写真でわかり、保護者の安心材料となる。家庭での会話も広がりが効果的である。 小学校との連携では、運動会見学、合同避難訓練、凧あげ、一年生秋祭り招待等、交流が活発である。交流は小学校の低学年にとっても良い刺激となり、今後も幼少交流を深めてほしい。 まちづくり協議会は、住民の皆様のために活動している。今後は、町内単位で考えるのではなく吉浜全体で考え、皆で作っていき意識をもち、吉浜の子ども達の育ちに繋がってほしい。								

委員評価…『S：非常に良い』『A：良い』『B：普通』『C：良くない』

3 総合評価

- ・子どものしたい遊びを保育者が支えてくださり、満足して帰ってくる姿を見ると、この幼稚園に子どもを通わせて良かったと感じる。子どもの成長が実感できた。
- ・コドモンという時代に合った便利なITツールを活用することで、子どもたちの楽しそうな姿から園生活が理解でき、保護者の不安軽減や安心感に繋がっており、園運営が透明化できている。しかし便利だけにとらわれず、目を見て話すなど互いの気持ちを通わせながら、大切にしたいことはそのまま残して欲しい。
- ・吉浜地区の将来を担う子どもたち、「吉浜っ子、頑張れ！」という思い。
- ・子どもを安心して預けられるような園づくりに努めて欲しい。今後も家庭や地域等と連携を密にとった園運営に期待する。
- ・公立園のため職員の異動があるものの、教育目標は変わらず受け継がれており、職員の努力が見られる。これまでの保育が今後も繋がっていくことを願う。
- ・地域との連携も密であり、吉浜地区の良さが活かされていると感じた。S評価の項目は、そのまま継続できるよう努めてほしい。